

平成 29 年 12 月 小竹図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 12 月 22 日（金） 15 時 30 分から 16 時 10 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 小竹図書館指定管理者（ハートフルサポート共同事業体）（以下「小」） 小竹図書館長、同館業務従事者、本社スタッフ（3）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光）10 月 5 日の、トイレ使用直後に清掃員が入ってくるとの苦情について →（小）清掃員およびスタッフには、利用者がトイレから出てきた直後に入らないように周知した。</p> <p>② 一般事業について</p> <p>（光）10 月の一般事業が少ないがどう考えているか。 →（小）講師との開催日の調整からバランスよく開催ができなかった。年間でみると昨年度より事業を減らしているわけではない。</p> <p>（光）11 月の時事展示「勤労感謝の日 頑張るあなたへ贈る本」について →（小）勤労感謝の日になみ、働いている方や就職活動中の方にお薦めしたい本を展示した。様々なジャンルの本を展示したため多くの貸出しにつながり、展示本は 200 冊以上となった。</p> <p>（光）11 月開催の「小竹寄席」について →（小）利用者に好評のため、日本大学芸術学部落語研究会を招き、毎年実施している。子供の部と一般の部を分け、落語が初めてという子供でも興味を持ってもらえるように、小道具の説明をクイズ形式で行う等工夫している。</p> <p>（光）武蔵野音楽大学との地域連携の予定はあるか。 →（小）武蔵野音楽大学の江古田キャンパス内に楽器博物館が平成 31 年度にリニューアルオープンする。この楽器博物館の見学ツアーなどを考えている。</p> <p>（光）練馬区と友好都市提携を締結しているオーストラリア・イプスウィッチ市への寄贈資料に関する代理選書について →（小）寄贈する場合と寄贈される場合があるが、どちらも隔年で実施しており、今年度は練馬区が寄贈する側となる。</p> <p>（光）11 月開催の「最後までわが家で暮らしたい人のための講座」について →（小）住み慣れたわが家で最後まで暮らすために知っておくと役に立つ、在宅療養や介護の支援制度、地域の相談窓口や練馬区独自の見守り関連事業を紹介した。高齢者には分かりにくい介護保険の申請方法なども事例を挙げて解説した。</p> <p>（光）11 月 22 日の、薄い冊子の場合は 10 冊まとめて 1 枠にする等便宜を図れないかとの要望について</p>

→ (小) 出来ない旨を繰り返し説明し、納得していただいた。

(光) 10月実施の「練馬区のクラシック音楽の分類」研修について

→ (小) クラシックに詳しくない職員もあり、分かりづらい部分もあるため、新人を中心に研修を行った。

### ③ 児童サービス事業について

(光) 10月のテーマ展示「中学生のおすすめ本」について

→ (小) 9月に職場体験をした中学生3名に蔵書の中から15冊ずつ本を選んでもらい、そのうち3冊にPOPを描いてもらい本と一緒に展示した。職場体験に来た学校の生徒には全員お願いしている。また、水曜日に「よみきかせ」を行っているのでその時に職場体験があれば、「よみきかせ」もお願いしている。

(光) 11月開催の「赤ちゃん向けおはなし会スペシャル」について

→ (小) 定例のおはなし会では紙芝居や絵本の読み聞かせをしているが、スペシャルという事で10分時間を拡大し、普段は使用しないパネルシアターや大型絵本等の読み聞かせを行った。毎年、秋に1回、お父さんも参加できるように休日に開催している。

### ④ その他

(光) 利用者アンケートについて

→ (光) 他の利用者へのマナー向上を求める声は多いか。

→ (小) 昨年度より増加しているというわけではないが、一定数ある。

→ (光) 利用者が参加できる企画が欲しいとの意見があるが、具体的な考えはあるか。

→ (小) 1月にボランティアの入門講座を予定しているため、そこから何かつながれば良いと考えている。ボランティアといってもやりたいことが人それぞれ違うため、図書館とどう関われるか検討する。

(光) 利用者懇談会について

→ (小) 夏頃から参加を呼び掛け、当日は台風の影響も心配されたが16名もの参加があった。参加者からは、もっと多くの方を巻き込み小竹図書館を核として文化的な交流に発展させてほしいとの意見があった。また、イベントの周知不足や江古田駅から小竹図書館まで道がわかりづらいとの意見があったため改善に努める。なお、参加者から小竹図書館建設時の写真をお借りできたので今後、写真展等に活用できたらと思っている。

→ (光) 本を通じて人と人とが触れ合うような会の開催や本の感想が言い合えるようなイベントの開催については、何か考えているか。

→ (小) 自分が読んだおすすめ本を紹介する企画を年一回行っている。おすすめ本は展示をしたり小冊子を作ったりして紹介する方法。また、読書会については、どんな内容の開催が良いのか考えている。

→ (光) 一つの本やテーマについて参加者全員で感想を言い合うというスタイルもあるが、各自がお薦めする本を紹介するような方法も利用者同士の交流といった点では向いている。